

広島県教育委員会 幼児教育支援アドバイザーさんが来園されました

令和2年7月30日（木）

広島県の幼児教育長期派遣事業で、舞先生が横浜小学校から坂みみょう保育園で研修されています。保育園を卒園し小学校での生活や学習について、保育園と小学校がどう子どもを支えることがスムーズな接続となるのか、現在の子どもの姿から考えていく機会をもっていただきました。

広島県教育委員会事務局 学び変革推進部 乳幼児教育支援センターから4名、坂町教育委員会から1名、計5名の参加し、年長組さんを中心に保育を見ていただきました。

ひまわり組・ふじ組ともに、日頃子どもたちが観察したり、試したり、探求したりしているいろいろなコーナーあそびを見て回り、様々な角度からの気づきを教えていただきました。

言葉で自分の思いを表現することで友だちと異なる意見を知り、そのうえで自分の気持ちをコントロールすることを繰り返すことで集団として高まっていくこと。そういった諸々に対する心の葛藤を経験することが成長につながる。そして、丁寧に子どもをみること、行動を分析することが接続につながることも改めて感じる機会となりました。

子どもたちと日々、対話しながら保育士と子どもの気持ちがつながる保育を求めて行きたいものです。

広島県教育アドバイザーさんたち

見て、見て。
カブトムシの羽が
動いとるんよ。
逃げたいんかねえ？
エサを探しに行くん
かねえ？

ビニールを
ハサミで切るのは
難しいんよね。
でも切れるんよ。

坂町教育委員会の主幹、福富先生

カブトムシ、いいねえ。
ちょっと先生にも見せて。
へえ～、すごい。
飼ってるの？
いろいろ教えてね。

広島県教育アドバイザーさん

年長さんって、どんなこ
とを、おしゃべりしてい
るのかしら？
どんなことを感じている
のかしら？

昨日もやったね。
スタンプどこに押す？
〇〇ちゃんはどうやって
するん？ぼくは、ここに
するよ。